

# ジュゴン!?

令和3年、ジュゴンは沖縄県希少野生動植物保護条例の  
指定希少野生動植物種に指定されました。  
沖縄県ではジュゴンの保護のため目撃情報を集めています。  
いつ、どこで、だれが、ジュゴンや海草を食べた跡を見たか、  
沖縄県自然保護課まで情報をお寄せください。  
「ウミンチュの父親が見たと言っていた」など、  
昔の情報でもかまいません。

目撃情報の連絡先は、

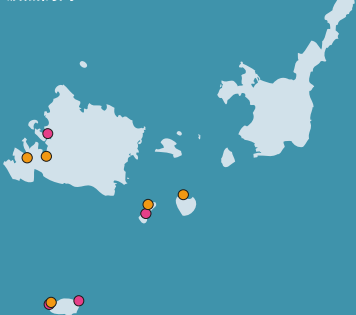
沖縄県環境部 自然保護課 **098-866-2243** まで

(なお、ホームページ内のお問い合わせフォームからもお寄せいただけます。)

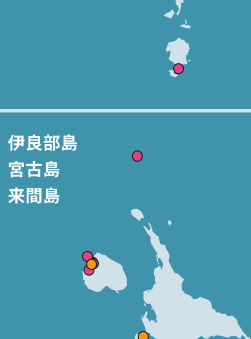


## ジュゴンと食み跡の確認位置及び 目撃情報の分布 (2018年-2021年)

西表島・石垣島  
新城島・黒島  
波照間島



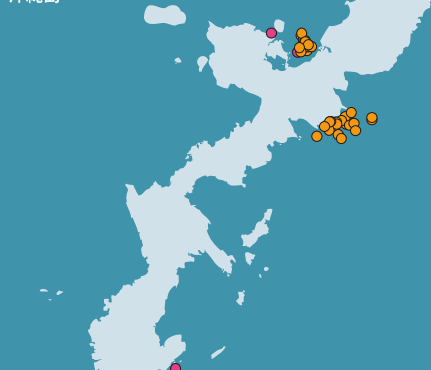
伊平屋島  
伊是名島



伊良部島  
宮古島  
来間島



沖縄島



0 20km

沖縄県のジュゴンの情報は下記ホームページからも見ることができます。

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/dugong.html>

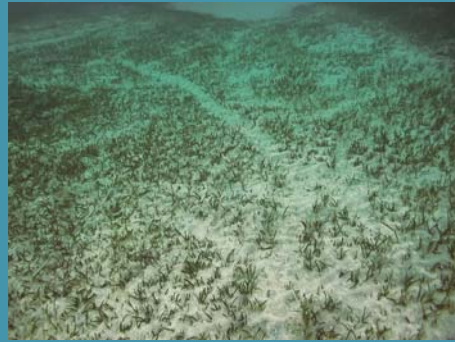


ジュゴンの親子 (写真:環境省)  
成獣の体長は3m程度

ジュゴンは、西太平洋やインド洋、紅海の暖かい海に生息する動物で、沖縄は世界の分布の北限にあたります。世界中でジュゴンの個体数は少なくなり、そのため各国の法律などで保護されています。沖縄県内には、これまで沖縄島周辺の限られた海に生息すると考えられていましたが、近年先島諸島にも生息することがわかってきました。

## 沖縄のジュゴンと海草藻場

ジュゴン(ザン、ザンヌイユ)は、海草藻場で海草(ザングサ、ジャングサ)のみを食べています。海草藻場は、「海のゆりかご」とも呼ばれ、多くの生き物の生息環境、アカジンやマクブなどの幼魚のすみか、水質や底質の安定化、餌資源、二酸化炭素の吸収など大切な役割があるだけでなく、水産業の場としても「サンゴ礁」や「干潟」と共に大切な海の環境です。



ジュゴンが海草を食べた形跡 (食み跡)  
(写真:細川太郎)



ウミンチュによる食み跡の調査 (写真:環境省)

ジュゴンは、海草藻場で海草を食べることで、藻場を耕し、多くの生き物が生存できる環境をつくるはたらきが知られています。ジュゴンが訪れる海は、生物多様性の高い、豊かな海草藻場がある証です。

沖縄県や環境省では、ジュゴンを保護する目的で、レスキュー訓練や周知イベントなどを各地域で開催しています。ジュゴンと海草藻場を守るための取り組みには、県民の皆様の関心と理解が不可欠です。



定置網でのレスキュー訓練 (写真:細川太郎)